

I 青果情報

1 3月下旬～4月中旬までの経過

気象 3月下旬は、日照時間は北日本と沖縄・奄美を除いて平年を下回り、降水量は北日本日本海側、沖縄・奄美で平年並、それ以外は平年を上回る地域が多かった。特に、西日本日本海側は統計開始以降1位の多雨となった。

4月に入ると、全国的に気温は平年より高めで推移したが、西日本を中心に降水量が平年を上回り、日照も北海道、東北を除いた太平洋側、九州地方は平年を下回った。

野菜類

入荷量 暖冬傾向で進んだことから、冬作産地の切り上がりが早まり、一方で、その後の産地は3月上中旬に広域で低温及び降雨に見舞われ、生育や収穫の停滞につながった。そのため、3月下旬～4月上旬は「カリフラワー」「なす」「にんじん」等、多くの品目が端境期となり、前年をかなり下回る入荷量となった。4月に気温が高めに推移したこともあり、4月中旬には入荷量は回復し、3月下旬から4月中旬までの入荷量は前年と比較して並～やや減となった品目が多かった。

野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は112,082 t（前年比97.8%）と前年並であった。

相場 全体的に入荷量が少なく、「にんじん」「キャベツ類」等多くの品目が入荷量回復後も高値で推移した。一方で、入荷量十分な「ばれいしょ類」「かぼちゃ」は前年を下回る価格で推移した。

野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの価格は325 円/kg（前年比120.3%）と前年を大幅に上回った。

果実類

入荷量 「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷。

「りんご類」は、産地在庫が前年比60～70%と少ない中で、入荷量も前年比70%台と大幅に下回った。他の品目も全体的に入荷量は少なく、みかん類や大玉すいかを除いて前年を下回った。

果実全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は23,732t（前年比94.7%）と前年をやや下回った。

相場 「りんご類」は入荷量が少ないため、前年を大幅に上回った。「いちご類」も入荷量少なく、前年をかなり上回った。

果実全体では、ほとんどの品目で前年を上回る傾向にあり、3月下旬から4月中旬までの価格は643 円/kg（前年比118.1%）と、前年を大幅に上回った。